

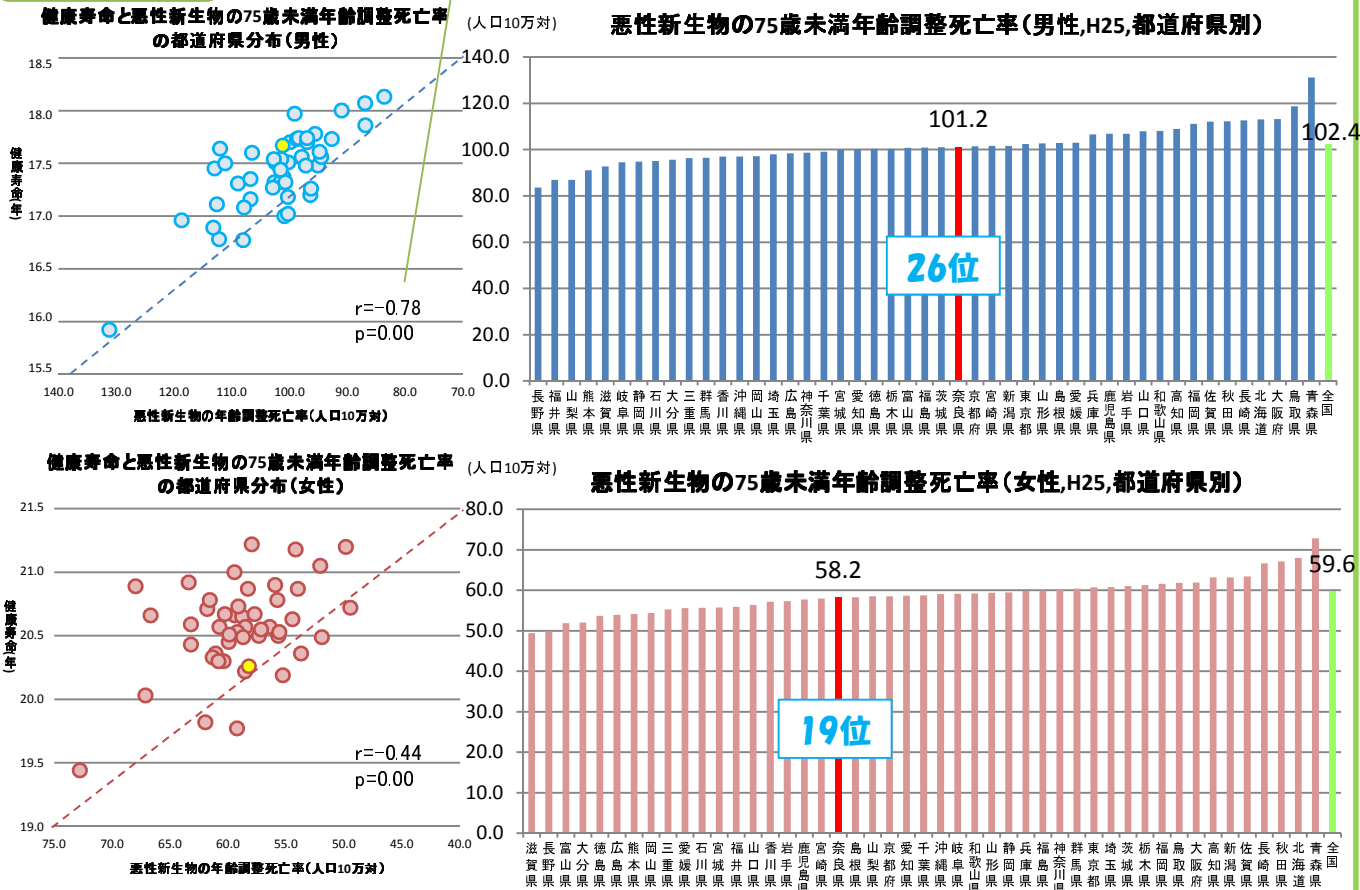
健康寿命に寄与する要因等の  
研究結果に基づく  
施策の展開について

# 1. がん検診の推進について

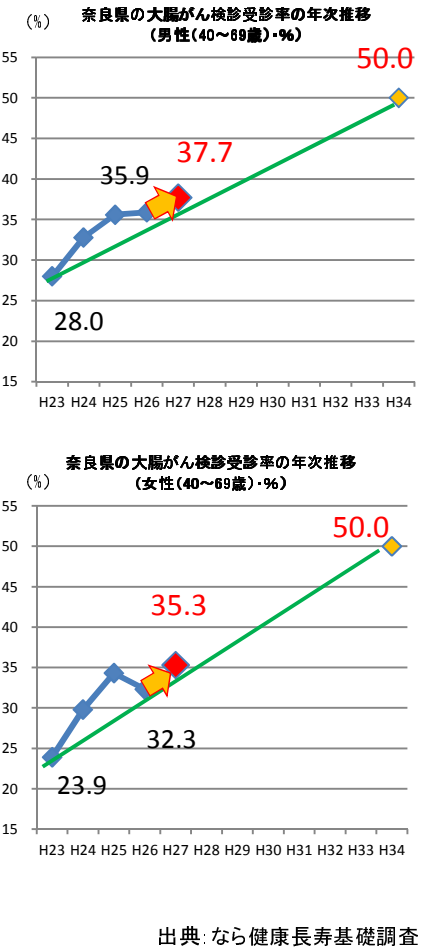
**r(相関係数)** 健康寿命との関係性の強さを示す数値  
-1~1までの数値をとり、絶対値が大きい方が関係性が強い

**p(有意確率)** この程度の相関が偶然に生じる確率  
確率が低い方が、r の信頼度が高い

## 現状



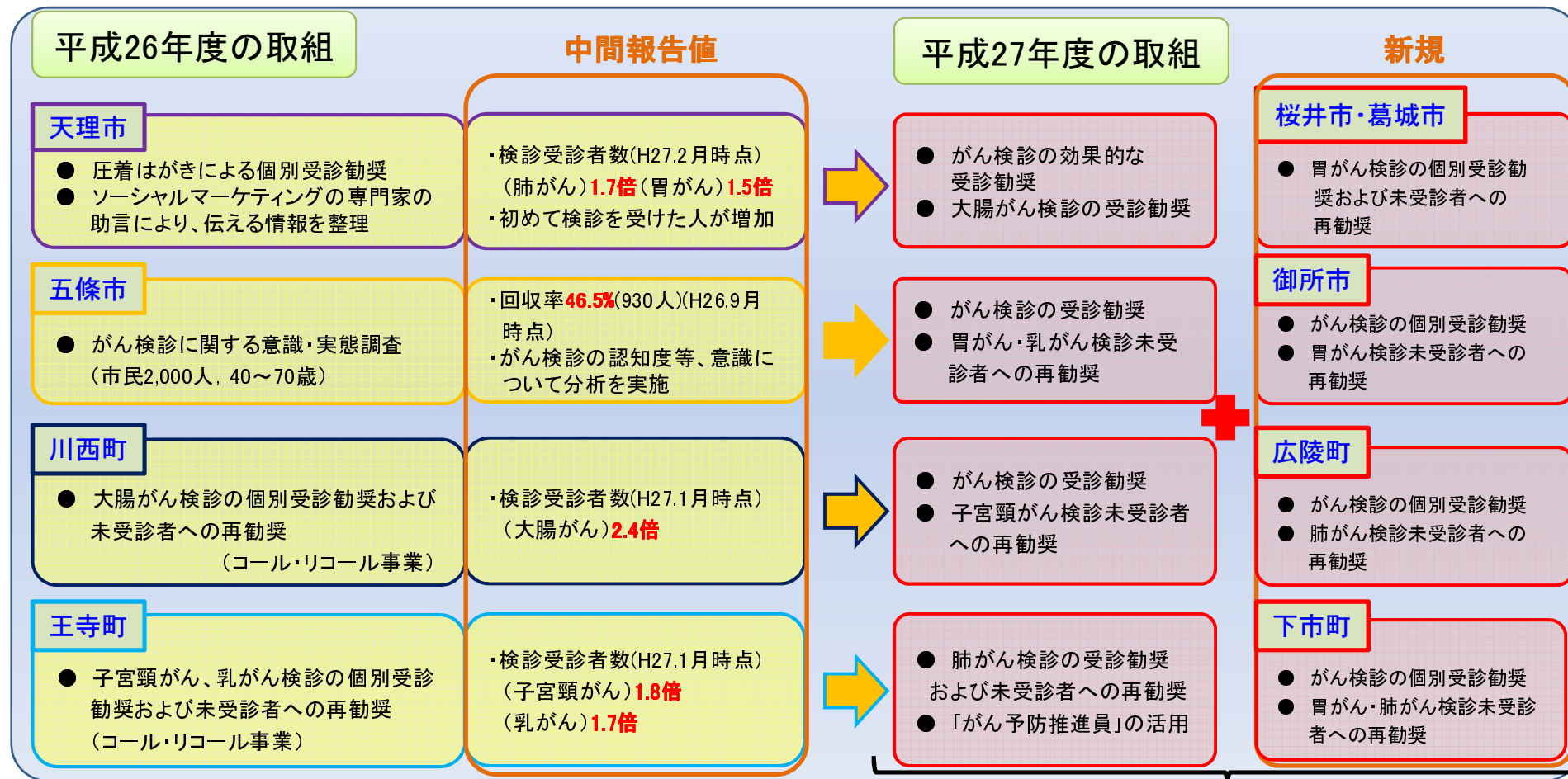
## 計画の進捗状況



## がん検診の推進

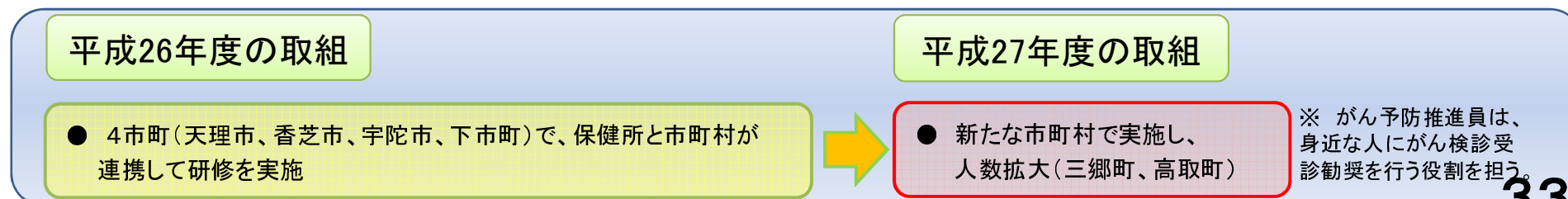
平成27年7月6日 奈良県健康長寿プロジェクト  
なら健康長寿基本計画推進戦略会議 資料

### ○ 市町村と協働した対策の実施



### ○ がん予防推進員の養成

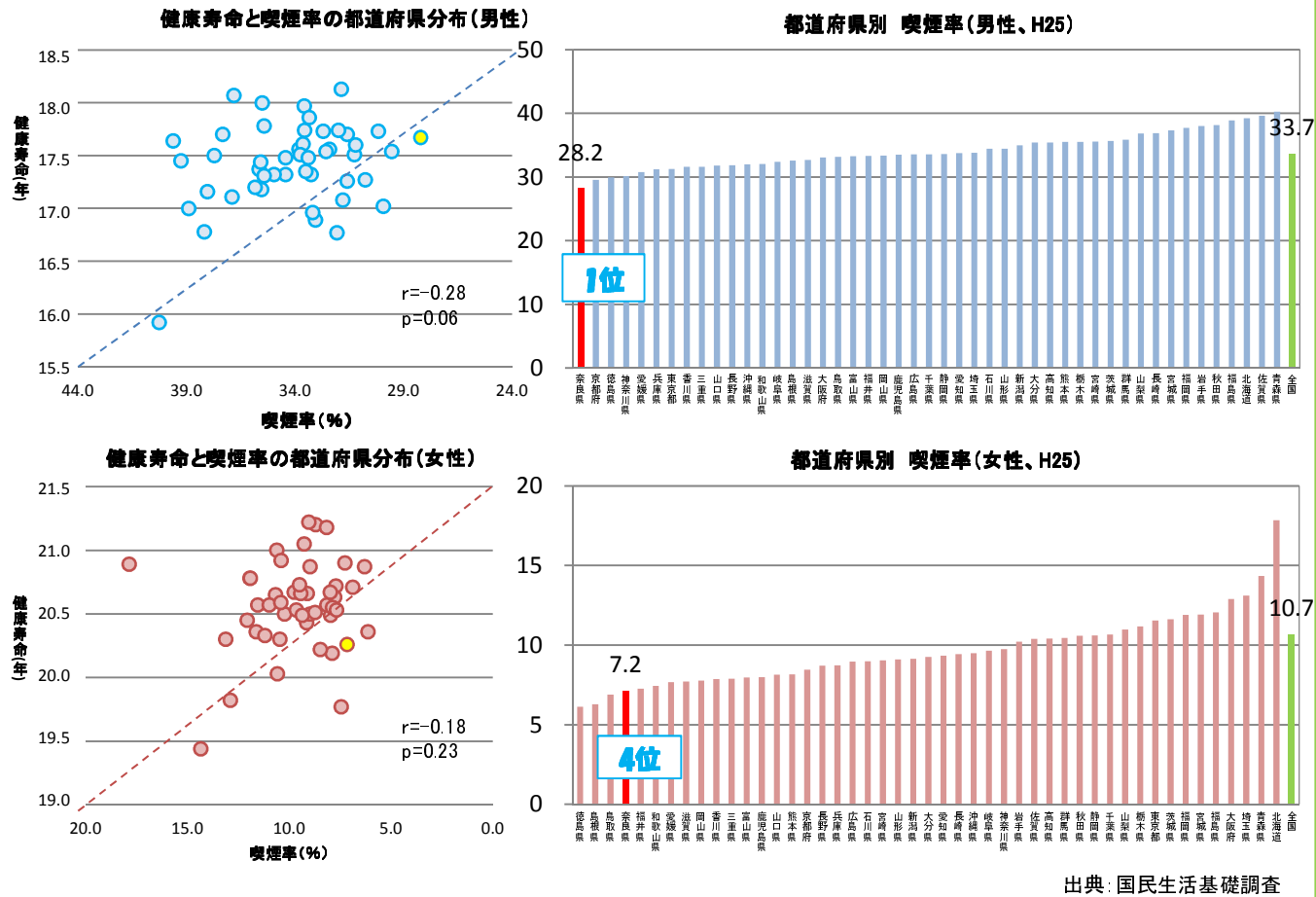
合計9市町



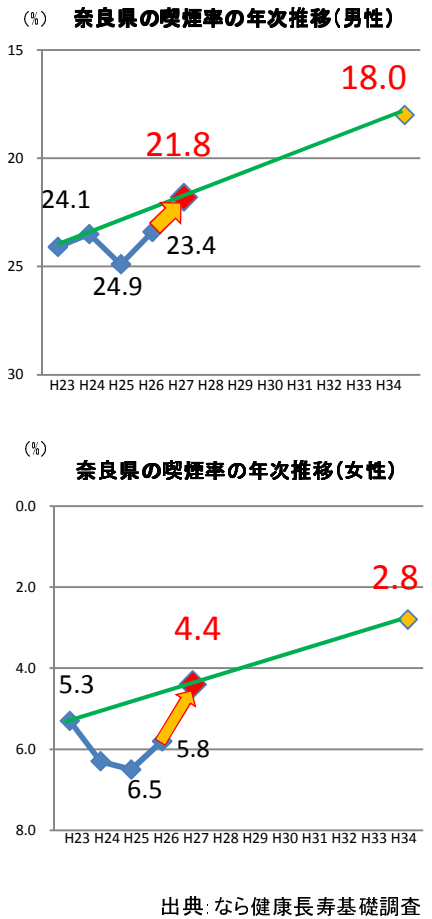
※ がん予防推進員は、身近な人にごがん検診受診勧奨を行う役割を担う。

## 2. たばこ対策の推進について

### 現状



### 計画の進捗状況

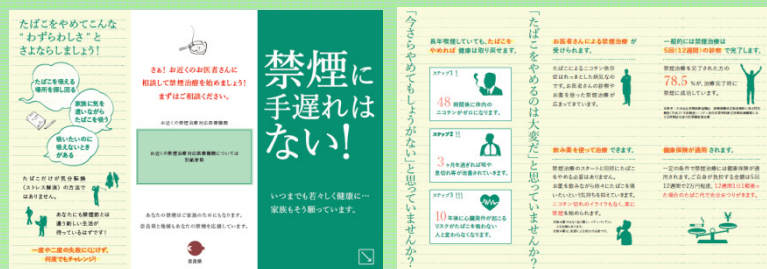


## 平成26年度の取組

### ○ モデル市町村(13市町村)の喫煙者調査及び禁煙促進要因の分析

- ・調査期間：H26.10.29～H26.11.28
- ・有効回答率：49.5%(990人/2,000人)
- ・リーフレットに掲載する禁煙促進要因
  - ① キーワードは「家族」
  - ② 禁煙のメリット(短期間で改善すること等)
  - ③ 禁煙開始のキッカケと禁煙治療の情報

### ○ 禁煙支援リーフレットの作成



### ○ リーフレットの効果検証

喫煙者調査で同意の得られた612名に対して実施

- ・有効回答率：**35.3%(216人/612人)**
- ・リーフレット閲覧後禁煙した人：**26人(12.0%)**
- ・禁煙したいと思っている人の割合が増：**55.4%→68.5%**

## 平成27年度の取組

### ○ 開発したリーフレットの活用により市町村で禁煙推進

- 市町村が実施する特定健診およびがん検診等で、問診により把握した喫煙者を対象に、開発したリーフレットを活用した禁煙支援を実施

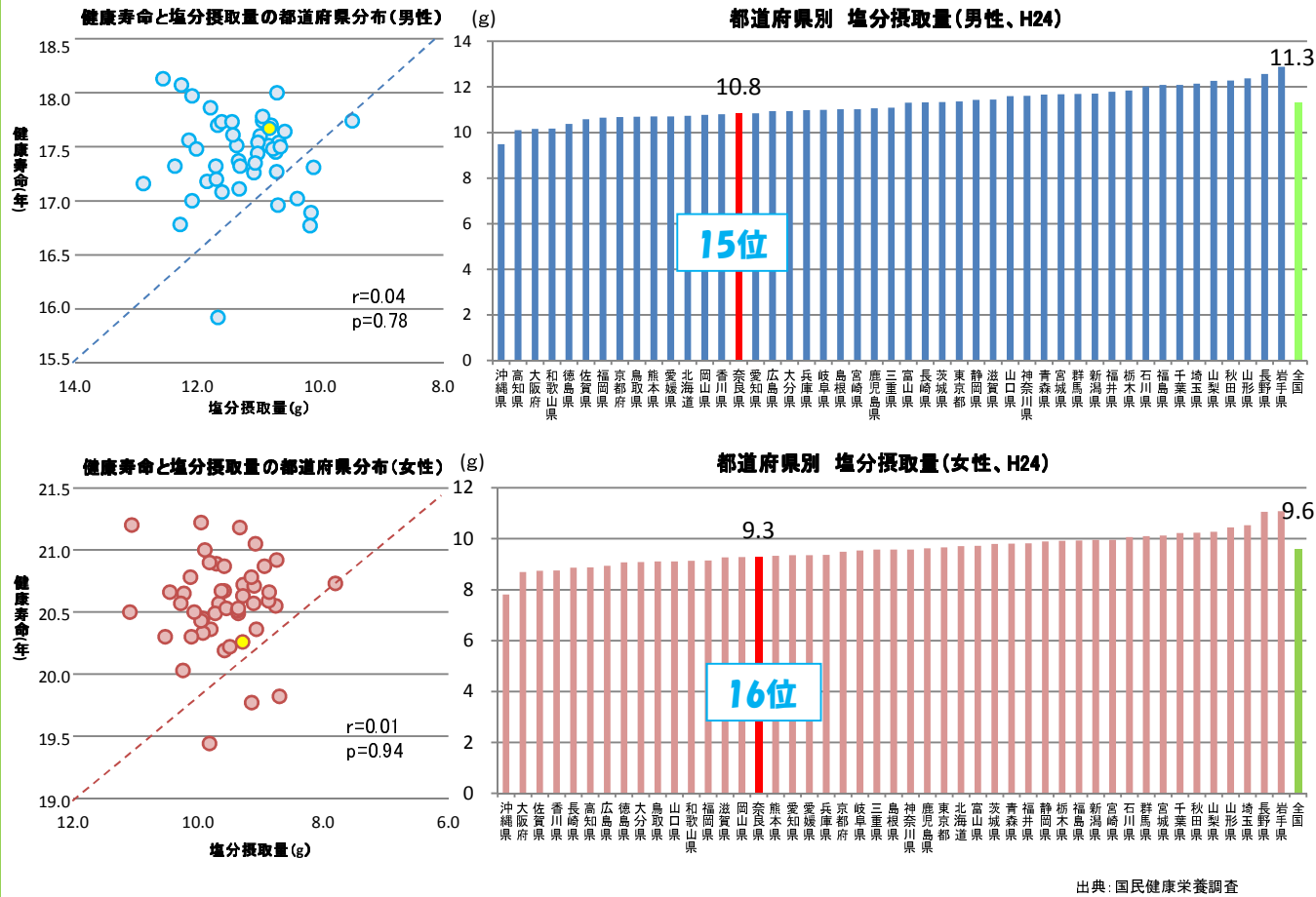
健康寿命を延長する取組推進モデル(たばこ対策分野)事業 H27年度スケジュール

| 年間スケジュール                          | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| リーフレット増刷・説明会準備                    | ←→ |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 説明会の開催                            |    | ←→ |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| リーフレットの活用<br>(市町村の特定健診・がん検診等)     |    |    | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→  | ←→  | ←→  | ←→ | ←→ | ←→ |
| リーフレット効果検証のための<br>事後アンケート調査準備     |    |    |    |    |    |    |     |     | ←→  | ←→ |    |    |
| リーフレット効果検証のための<br>事後アンケート発送・回収・集計 |    |    |    |    |    |    |     |     |     | ←→ | ←→ |    |
| 事後アンケート調査結果分析・評価                  |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    | ←→ |

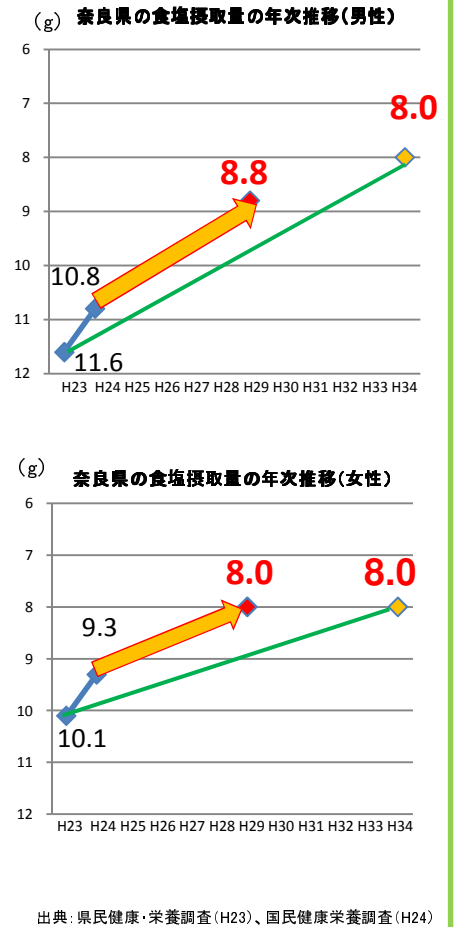
- H28年度以降は、市町村以外の保険者等にも拡大

### 3. 減塩対策の推進について

#### 現状



#### 計画の進捗状況



### ○ 市町村が実施する減塩教室プログラムの開発及び普及

#### 平成26年度の実施

#### ○ 減塩教室プログラムマニュアル

- **減塩の教室プログラム**をモデル市町村（**御所市、広陵町、下北山村**）と協働して作成し、他市町村でも活用できるようマニュアル化。

プログラム  
内容

- ① 受講者が塩分摂取量過多を自覚
- ② 塩について学ぶ
- ③ 具体的な減塩のコツを学ぶ

- モデル市町村（**広陵町**）での試行実施、効果検証



#### ○ 減塩紙芝居およびリーフレット

- 子育て世代や若い世代に減塩の大切さを伝える方策として、紙芝居「**げんえもんと一緒にいく 減塩修行の旅**」を作成。

- 紙芝居の内容のエッセンスをわかりやすく伝える**減塩リーフレット**を作成。



#### ○ 「適塩ソング～美味しい楽しい適塩生活～」

- 耳につきやすく、覚えやすいため、つい口ずさみ、**日常生活の中で適塩を意識できるような歌「適塩ソング～美味しい楽しい適塩生活～」**を作成。

#### 平成27年度の実施

### ○ 減塩ツール（減塩教室プログラムマニュアル、紙芝居、リーフレット、歌）を県内各市町村で広く活用

#### ● 減塩教室プログラム

県からアドバイザーを派遣し、  
3市町村（**御所市、斑鳩町、下北山村**）で実施

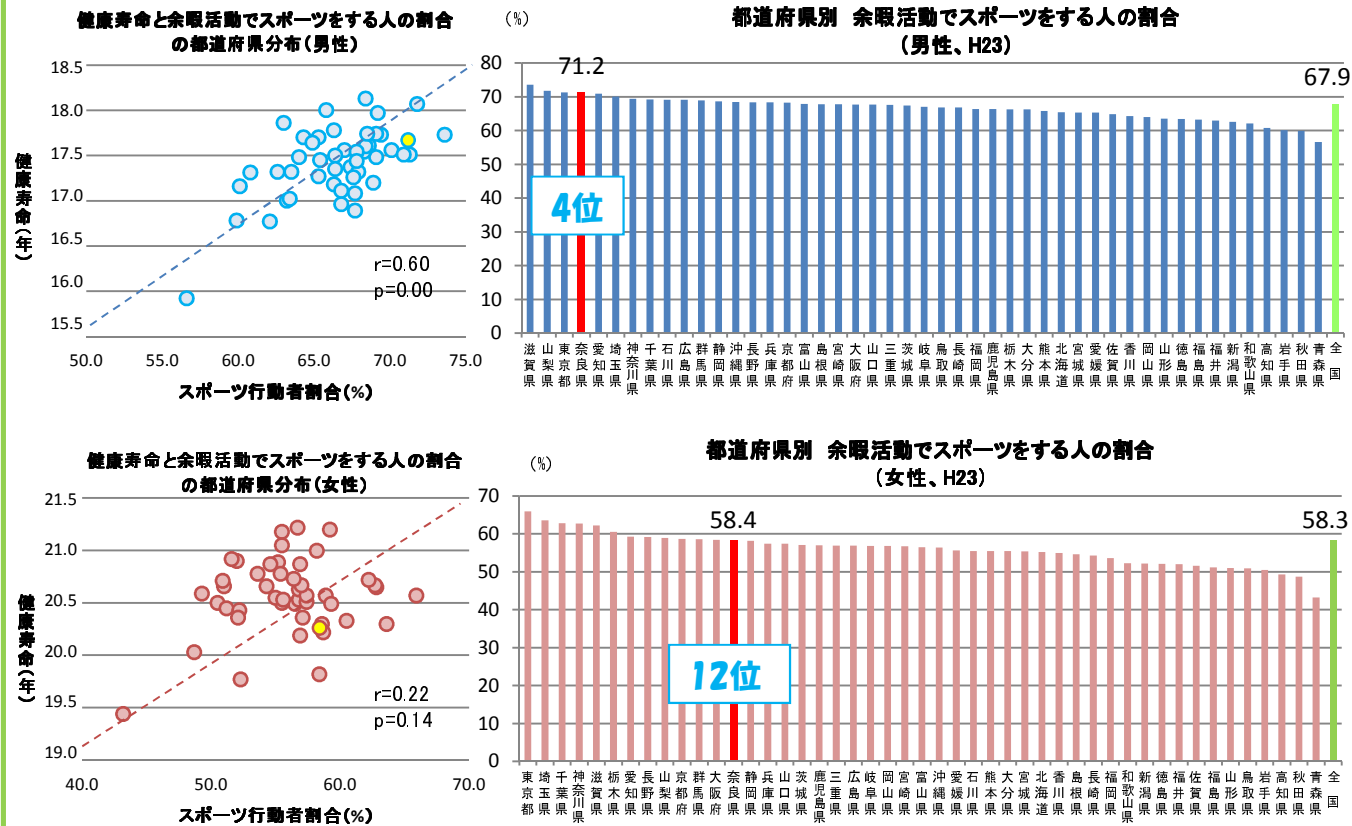
#### ● 紙芝居、リーフレット、歌

市町村保健センターや子育て支援センター等に普及。子育て世代を対象に適塩イベントの開催。  
（県内5か所で巡回実施）

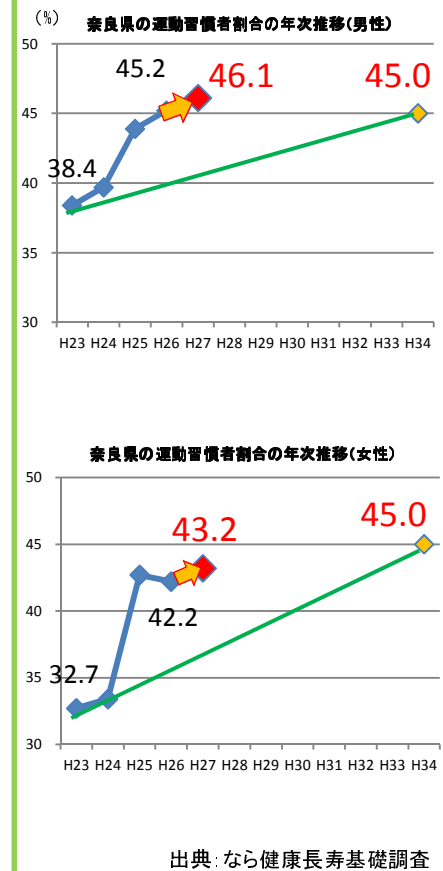


## 4. 運動の推進について

### 現状



### 計画の進捗状況





## ○ 健康ステーションの設置・運営

### 平成26年度の取組

#### 橿原ステーション

平成26年1月29日 近鉄百貨店橿原店6階に設置

- ・ 平成27年3月31日時点**49,032人**来場(1日平均**120人**)
- ・ 活動量計2週間体験者:**1,163人**
- ・ 「おでかけ健康モニター※」登録者:**595人**

#### 王寺ステーション

平成26年9月1日 リーベル王寺東館5階に設置

- ・ 平成27年3月31日時点**8,054人**来場(1日平均**58人**)
- ・ 活動量計2週間体験者:**496人**
- ・ 「おでかけ健康モニター※」登録者:**315人**

※ 活動量計を携帯し、長期間にわたり健康づくりを実践するモニター



橿原ステーション



王寺ステーションオープニング

### 平成27年度の取組

#### 1. 橿原・王寺ステーションを引き続き運営

王寺ステーションの来場者数の増を目指す。

#### 2. 当初目標の「おでかけ健康モニター」1,000人は今年9月時点で達成見込み。引き続きモニター数の増加に取り組む。

#### 3. 市町村直営方式の健康ステーションの設置を支援する。

H27年度:

市町村向け説明会の開催、アドバイザー派遣(ノウハウの提供)、H28年度以降の支援内容の検討(財政的支援、人的支援等)



<活動量計>

## 運動の推進

平成27年7月6日 奈良県健康長寿プロジェクト  
なら健康長寿基本計画推進戦略会議 資料

### 平成26年度の実績

#### 参加型スポーツイベントの実施

- ・第5回奈良マラソン [H26.12月13,14日 : 16,684人]  
⇒県民枠を新設し、前回より出走者 2,000人増加
- ・RUN×2 リレーマラソン [H26.11月30日 : 1,790人]  
⇒前年度より約500人増加
- ・400mリレーフェスティバル [H26.10月25日 : 624人]
- ・サイクルイベント(「ツアー・オブ・奈良・まほろば」等) [計4回 : 3,795人]  
⇒前年度より約600人増加
- ・トップアスリートによるスポーツ教室(野球・サッカー・水泳) [計5回 : 395人]
- ・カヌー教室・フェスティバル [H26.9月20日,10月18日 : 146人] 等

#### 身近な公共施設を活用した運動機会の提供

- ・橿原公苑陸上競技場の夜間無料開放「ナイトラン」  
[ 毎週月・水・金 : 29,915人(平均207人/日) ] ⇒前年度より約3,000人増加
- ・県立学校体育施設の開放<高校33校・特別支援学校8校>  
[ 11,617人(25年度) ]
- ・新県営プール「スイムピア奈良」<H26.7月オープン>  
[H26年度利用者数 : 79,191人(平均334人/日)] 等

#### 総合型地域スポーツクラブの育成・充実

- ・クラブアドバイザーによるクラブ設立・育成支援  
[ 61クラブ/37市町村 ] ⇒前年度より4クラブ増加
- ・広域連携による交流イベント開催  
[ 計8回 : 3,040人 ] ⇒前年度より1,030人増加



### 平成27年度の実績

#### ◎イベントの充実



#### ◎施設の利用促進



#### ◎クラブへの参加促進活動

参加率の低い世代(20~49歳)に対し、  
**健康づくりイベント、  
保健指導等の場**  
を通じてクラブをPR



## ○ 地域限定版生活支援スマホの開発について(案)

平成27年7月にデモ機を製作、年度内にアプリ開発。28年度から運用開始へ

